

| 今月の経済動向（平成27年12月）

● 月例経済報告/金融経済月報

	月例経済報告（内閣府・12月21日）	変化*	金融経済月報（日本銀行・12月21日）	変化*
景気基調	景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。 先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。	→	景気は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、緩やかな回復を続けている。 先行きについても、景気は緩やかな回復を続けていくとみられる。	→
民間消費	総じてみれば底堅い動きとなっている。	→	雇用・所得環境の着実な改善を背景に、底堅く推移している	→
設備投資	おおむね横ばいとなっている。	→	企業収益が明確な改善を続けるなかで、緩やかな増加基調にある。	→
住宅投資	おおむね横ばいとなっている。	↓	持ち直している。	→
雇用	改善している。	↑	着実な改善を続けている。	→
生産	このところ弱含んでいる。	→	横ばい圏内の動きが続いている	→
輸出	弱含んでいる。	→	一部に鈍さを残しつつも、持ち直している	↑
国内企業物価	緩やかに下落している。	→	国際商品市況の下落を主因に、3か月前比でみて下落している。	→
消費者物価	緩やかに上昇している。	→	前年比 0%程度となっている。	→

* 前回からの変化：上方修正 ↑、下方修正 ↓、据え置き（表現変更） →

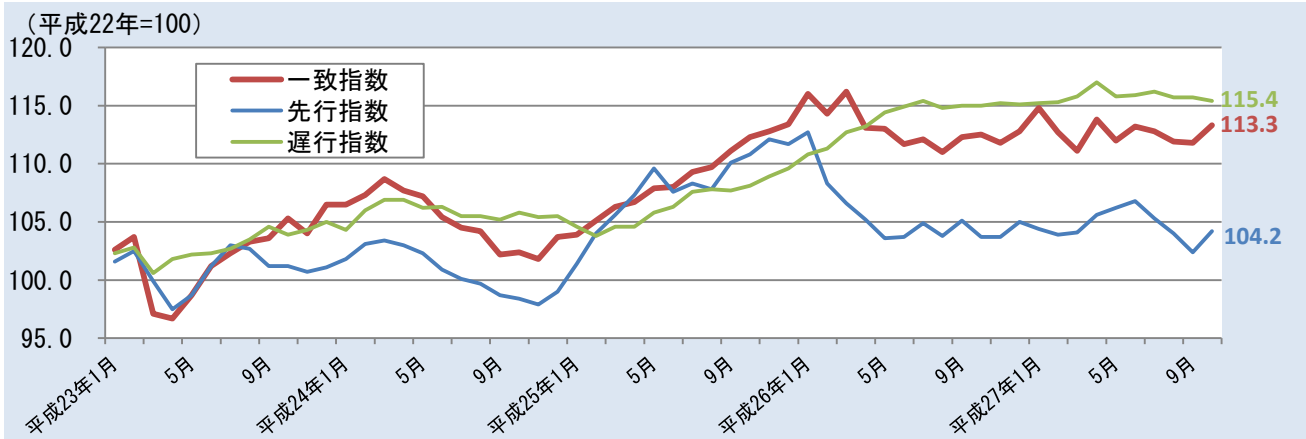
[月例経済報告：内閣府](#)

[金融経済月報：日本銀行](#)

● 景気動向指数（平成27年10月）

平成27年10月のCI一致指数（改訂値）は前月より 1.5ポイント高い 113.3ポイントとなり、4ヶ月ぶりに前月を上回った。CI先行指数は4ヶ月ぶりに上昇し 104.2ポイント、運行指数は 115.4ポイントとなった。
景気の基調判断（CI一致指数）は、「足踏みを示している」を据え置いた。

・ CIの推移



[景気動向指数：内閣府](#)